

# あの『みのり太鼓』と一緒にステージに!!



## みのり太鼓 メンバー 井坂 いく子さん

「みの～れがたくさんの人を元気づけているように、私も太鼓でたくさんの人を元気づけていきたい」と語る井坂さん。

みの～れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ No.56

立春を過ぎてまだまだまだ寒い日が続いていますが、日差しが柔らかくなり、春の足音が近づいて来ました。福寿草やふきのとうが顔を出し、梅の蕾も膨らみ、もうすぐ甘い香りの花を咲かせてくれるでしょう。みの～れでは10歳記念事業「みの～れ&みのり太鼓コラボレーション企画『太鼓教室』」が開催される。今回は、みのり太鼓のメンバーで笑顔が素敵な柴高地区にお住まいの井坂いく子さんを取材する。

## 太鼓は 生活の一部

井坂さんは、小学校4年生のときに1歳違いのお姉さんと一緒にみのり太鼓に入団した。「当時はとても内弁慶でみのり太鼓に入った頃はお姉ちゃんの後ろに隠れてしまふような子だった。太鼓を始めた事でだんだんと人見知りが減り、性格も明るくなった」と振り返る。

太鼓を続けて丸11年。井坂さんにとって太鼓は生活の一部となっており、お風呂上りのストレッチは毎日欠かさず行っている。それでも練習の後には毎回筋肉痛になるといふ。太鼓の大好きな井坂さんも高校生のときに「練習もすごく厳しいのに、何で太鼓を続けているんだろ?」と考えたときもあった。でも、舞台上に立つてお客さんに喜んでもらえる、やっぱり続けていて

良かったと思う。定期的にコンサートを行っているのも準備が大変だけど刺激になっていい。高校生になると自然と年下のメンバーに教える立場になり、小さなイベントなどは演出や構成まで携わるようになる。とてもいい経験させてもらいました。また、新しい曲を覚えるときは楽譜を使わないのでDVDを見て目で覚え、タンタカタンと口で言いながら覚えた。お囃子や盆踊り等で太鼓の音が聞こえると自然と体が動いてしまします」と話す。

井坂さんは車の運転が大好きでぶらっとドライブに出かけたりする。今年からスノーボードに挑戦し始め「すごく楽しい」と語る彼女の眼はとも輝いている。太鼓のメンバーとは練習以外でも親交があり、20歳を過ぎてからは飲み会などにも参加するようになった。楽しい日々を送っている。

第1回創作和太鼓コンテストでは、大好きなお姉さんとの

息がピッタリあったかけあいの演奏などが評価され、最優秀賞をもらった。「練習では音があまり合うことがなかったが、本番ではピッタリ合っ」とも嬉しかったと話す。また、公演を観に来てくれる友達からは「普段とは全然違って凄いな」と言われます。「これから結婚しても、子どもが生まれても太鼓は続けたいし、何かしらの形で関わっていききたい」と語ってくれた。「みの～れのボランティアにも参加するようになり、友達の方たちが温かく接してくれるので、みの～れは一人でも来やすいところですよ」と話す。

2月26日(日)・3月25日(日)には、みの～れ10歳記念事業として太鼓教室が行われ、みのり太鼓の高校生以上メンバーが楽しく参加して頂くために覚えやすい曲を用意しています。ドーンとお腹の底から響く和太鼓をたたいてみませんか?

(藤田 佐知子)